会議録

令和3年3月17日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和2年度第8回定例会
開催日時	令和3年1月27日(水) 18時30分～19時45分
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小野修平(会長)、西原みどり(副会長)、大友禾弘子、小林道子、遠藤修、大内俊、伊藤邦子、伊尻由起、渡部國夫、小沼純子、高井正 職員：高田館長、國府方館長補佐(田無)、山本事業係長(柳沢)、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	委員：伊藤正明、倉持伸江
議題	1 議題 (1) 主催事業について ア 令和2年度公民館主催事業報告 (資料1) イ 令和2年度公民館主催事業計画 (資料2) (2) 報告事項 ア 令和2年度第6回定例会会議録(案)について(資料3) イ 令和2年度第7回定例会会議録(案)について(資料4) ウ 行政報告 エ 田無公民館休館中の代替施設について(資料5) オ 公民館だより編集室報告 カ 都公連委員部会報告 (3) 意見交換 ア 西東京市公民館事業計画(令和3～5年度中期計画)素案について ・Ⅱ-4重点的に取り組む事業について ・令和3～5年度事業計画について 2 事務連絡及び情報交換 (1) 緊急事態宣言期間中の公民館の対応について (2) 西東京市公民館運営審議会委員研修について (3) その他 3 その他 (1) 2月定例会開催について 2月17日(水) 午後6時30分から 柳沢公民館視聴覚室
会議資料の名称	【資料】 資料1 令和2年度公民館主催事業報告書 資料2 令和2年度公民館主催事業計画書 資料3 令和2年度第6回定例会会議録(案) 資料4 令和2年度第7回定例会会議録(案) 資料5 田無公民館休館中の代替施設について
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☒ あり ☐ なし 2名
1 議題	(1) 主催事業について ア 令和2年度公民館主催事業報告 (資料1) イ 令和元年度公民館主催事業計画 (資料2)

○A委員

健康講座「免疫力1ランクアップ～ウィズコロナ下での健幸法～」(芝久保)について、参加者定員20人のところ3回の講座で参加人数が延べ35人となっているが、定員に対する申込割合が100%となっている理由は何か。

次に意見が4点ある。

1点目、子ども実践講座「パステルアートで色を楽しむ」(芝久保)は大変楽しい内容と認識しており親子参加を企画してほしいので、学校への働きかけとして出前講座を検討してはどうか。

2点目、防犯講座「心理学から考える特殊詐欺対策」(芝久保)について、講座で使用したプリント資料を市民に配布してほしい。

3点目、インクルーシブな社会を目指す講座「だれもが生き生きとすまちなかをつなげる、はじめの一歩！」(谷戸)は、知識を得て知り、ボッチャと一緒に活動し、理解を深めるという企画で、大変有意義な講座であると評価している。今後も、くるみ学級やあめんぼ青年教室と共同の企画を各館で開催することを期待する。

4点目、体験講座「真菰を使ってしめ縄を作ろう」(谷戸)について、毎年実施しており大変人気の講座となっているが、断った人が10人以上、初めての人が3人ということから、申込順でよいのか検討してほしい。初めての方優先でもよいのかなと思う。経験者はヘルプに回ると学習が連鎖するのではないかな。

○分館長(芝久保)

申込は定員の20人だったが、新型コロナが心配である等の理由から欠席される方もあり3回の講座で参加人数が延べ35人となった。

○B委員

当日配布となる報告書と計画書がある場合は、早く来て開会前に内容の確認をしたいので、郵送やメールで資料を送る際に、当日配布資料があることを教えてほしい。

事業報告書の創作講座「ぬりえで色彩を知ろう」(芝久保)について、今後の方向性として「継続して行う講座として検討する」とあるが、これはここに書くべきことなのか。継続して取り組むのであれば、初めて参加の方が優先的に参加できる仕組みやより広い参加者につながるよう実施する館を変えるなどの検討も必要かと思う。

子ども実践講座「パステルアートで色を楽しむ」(芝久保)について、参加者14人のうち初めて参加した方が11人というのはすごいことだと思うが参加しやすい条件づくりについての記載がないことに違和感を覚える。何か取り組みがあったのであれば記載していただきたい。

多世代交流講座「初めての手話」(芝久保)について、お子さん連れの参加も呼びかけたが申し込みはなかったとのことだが、どこに呼びかけたのかどのような状況であったのか教えてほしい。

申し込み開始日に参加申し込みをしたがキャンセル待ちになってしまった。

申し込み開始日の申込者は抽選にすることや初めての参加者を優先する取り組みを考えてほしい。

事業計画書について、子ども対象事業の計画が多いが、新型コロナが心配で参加しにくいとの声も聴くのでオンライン併用の講座を検討してほしい。

○分館長(芝久保)

多世代交流講座「初めての手話」(芝久保)については、先の公運審で「子どもの発達センターひいらぎ」への参加の声がけも必要ではないかのご意見をいただき参加申し込みの声がけを行った。

ひいらぎからの参加者はなかったが、講座に参加した障がいのない方たちに障がいの理解を深めることができた。

(2) 報告事項

ア 令和2年度第6回定例会会議録(案)について(資料3)

意見なく承認。

イ 令和2年度第7回定例会会議録(案)について(資料4)

各自持ち帰り内容の確認をし、修正等があれば一週間以内に公民館に連絡する。

ウ 行政報告

○館長

教育委員会の報告としては、次の報告事項エの田無公民館休館中の代替施設についてを教育委員会で報告しているので、引き続きエの報告をする。

エ 田無公民館休館中の代替施設について(資料5)

○館長

田無公民館が、令和3年4月から耐震改修工事により休館することに伴い、休館中の代替施設として田無総合福祉センター3階の一部を田無公民館(仮)活動室として活用することになった。

資料裏面3階の面図の太線で囲った部分が、田無公民館(仮)活動室として利用していただける場所である。図面上は3部屋に分かれているように見えるが、実際は仕切等がない大きな一部屋である。

期間は令和3年4月1日から翌年3月31日を予定している。

運用方法としては、机や椅子など田無公民館の備品を持ち込み、CDラジカセも置いて自由に使うことを考えている。

予約管理については、2か月前から田無公民館(仮)活動室として公共施設予約サービスでの申し込みとなる。

運用は田無総合福祉センターに合わせるので、休館日は第2・第4日曜日と祝祭日となる。

開館時間は午前9時から午後10時とし、音出しなどについても総合福祉センターに合わせCDラジカセの使用のみとした。

先週の金、土曜日に説明会を実施し、今後公民館だよりやホームページでも説明する予定である。

○B委員

説明会の参加人数と内容について伺う。また、(仮)活動室には職員は常駐するのか、備品の貸し出し方法はどうか。

○館長補佐

参加者は金、土曜日合計17人である。

備品については、机、椅子、CDラジカセは設置しておき、使用後は報告書に記入していただく。

職員は常駐しないが、消毒液の補充等で週1回程度は行くことになるものと考えている。

○C委員

部屋として大変広いと思うが、分割して使用することは考えているのか。

○館長

原則としては一団体が一部屋として使っていただくが、複数団体が相互に納得して使用する場合は特例使用申請により複数団体の利用をすることもできるものと理解している。

オ 公民館だより編集室報告

○事業係主査

公民館だより編集委員会は、1月6日に行った公民館だより3月1号取材終了後、午後4時から柳沢公民館で開催した。3月1日号一面特集では、コロナ禍での市民活動というテーマで西東京市文化芸術振興会を取り上げる。

緊急事態宣言も出されているので2月の編集会議は中止とする。

○D委員

取材記事として、谷戸イチョウ公園と文理台公園にある彫刻を紹介する。

カ 都公連委員部会報告

中止となったとのことにより報告事項なし。

(3)意見交換

ア 西東京市公民館事業計画(令和3～5年度中期計画)素案について

- ・Ⅱ-4 重点的に取り組む事業について
- ・令和3～5年度中期計画について

○事業係主査

素案について説明。

まず、計画の基本理念として、公民館は市民の学ぶ権利と学習の自由を保障する社会教育機関であることを記載した。

基本目標は「共生社会の実現に向けて、地域の中へ踏み出す公民館」とした。今後3年間、地域で、地域とともに、地域と向き合って、主催事業を展開していく。

基本方針としては、「開かれた公民館」、「問いかける公民館」、「地域とともに」、「地域の中にながりを」の4つを定めた。

重点的に取り組む事業は、職員と公民館専門員対象に行ったアンケートをもとにグループワークを行い策定したもので、4つの項目を挙げた。基本目標の「共生社会の実現に向けて」に対応するものとして、

「日々の暮らしの中では知り合う機会が少ない人と出会い、交流する機会を提供し、互いを尊重しながらともに生きる社会の実現につながる事業に取り組む」とした。基本目標の「地域の中に踏み出す公民館」に対応するものとしては、「地域に出かけ、地域を歩き、地域を知る事業に取り組む」、「公民館利用団体との協働事業を進め、市民が公民館活動の成果を地域へと広げることを支援する」「他課や関係機関と課題・目的を共有し、それぞれの独自性を活かして役割分担しながら連携して事業に取り組む」の3つを挙げた。

○会長

今後の進め方を確認しておきたい。

公民館事業計画（令和3～5年度）については、来週2月3日の公民館事業計画検討懇談会第5回会議が最後なので、承認をする必要がある。その後、2月の公運審定例会で報告するとスケジュールでよいか。

併せて令和3年度事業計画については4月の公運審定例会での承認でよいか。そうだとすると、次回2月の公運審定例会に令和3年度の事業計画案が出され、2月、3月で検討し、4月に承認というスケジュールになると考えるがそれでよいか。

○E委員

本素案は事務局が作成したということによいか。そうだとすると、公民館事業計画検討懇談会との関係はどうなっているのか。

○事業係主査

12月の公民館事業計画検討懇談会で基本理念、基本目標、基本方針の素案を示し、意見をいただいたものを修正して12月の公運審定例会に提出した。基本的には、公民館事業計画検討懇談会で検討していただいた結果である。重点的に取り組む事業について、公民館内でグループワーク等を行い、さらに1月の公運審定例会でご意見をいただいたうえで、2月の公民館事業計画検討懇談会で骨子を確定するという流れを予定している。

2月3日の公民館事業計画検討懇談会で骨子が確定したら、それに基づき、来年度の単年度事業計画についての基本的な考え方を出し、その後、各公民館で具体的な事業計画を検討していく予定。来年度の単年度事業計画については、令和3～5年度公民館事業計画に基づいたものであり、3月の公運審定例会で承認していただきたい。

○E委員

職員・公民館専門員がワークショップをすることは聞いていたが、職員、公民館専門員だけでなく、公運審委員も一緒に議論した方がよかったと、今になって思う。市民と一緒に作成するのであれば、一緒に議論することが必要。

○A委員

当初の素案に比べると、市民がわかりやすいものになった。

「共生社会の実現に向けて」のキーワードは人権であると思うので、人権、人権の尊重等のことばを入れてほしい。また、マイノリティについて学ぶ視点もほしい。

公民館以外の場所で行う出前講座も含めてほしい。

公民館や関係機関は、市民に生活課題や地域課題の気づきを促すという点で共通している。そういう視点も入れてほしい。

○F委員

わかりやすくなってよかったと思う。

市周辺にはいくつかの大学があり、ゆめこらぼ等では、大学生の助けが大きな力になっている。専門性を有した学生の力を借りることについても含まれているとよい。

○C委員

公民館と団体がつながるといことは言葉としてはよいが、具体的にそれを行うのは非常に難しい。

具体的な事例を示すことが大事だ。一つでもできればよいと思う。

○E委員

構成について、基本目標を実現するものとして4つの基本方針が挙げられているので、基本目標ではなく、基本方針に沿って重点的に取り組む事業を位置づける方がわかりやすいし、計画の本来の姿。また、条件整備、例えば、オンライン整備等のハードについても書いたほうがよいのではないかと。

○G委員

3か年計画であるので、3年後の絵姿、段階的な目標を明確にしたほうがよい。

○会長

共生社会の実現という目標に向けて3か年計画で積み上げていく必要があるが、計画の中で具体的な取り組みを示すか、示さないかについては、2月3日の公民館事業計画検討懇談会で議論すべきことだと思う。

2 事務連絡及び情報交換

(1) 緊急事態宣言期間中の公民館の対応について

○館長補佐

2回目の緊急事態宣言が出されたことを受け、公民館も1月8日から2月7日まで、午後8時閉館となった。利用可能人数については現状通り。利用制限は飲食不可。活動制限としては、大きな声を出す活動やマスクをしない活動については、定員の5割以下という制限を設けている。

主催事業について、2月7日に予定していた保谷駅前公民館主催の0歳からのコンサートを中止とし、同じく保谷駅前公民館主催のあつまれけいおん講座は第4回講座の日程変更を行い、家で練習できるよう動画の配信を予定している。

田無公民館で予定していた父と子のはじめての映像教室は、対象を親子から一般に広げて5回を3回に変更して実施する。

(2) 西東京市公民館運営審議会委員研修について

○会長

公民館運営審議会委員研修は、緊急事態宣言の発令を受け、3月8日(月)18時に変更した。予備日として、3月24日(水)・29日(月)とした。

3 その他

(1) 2月定例会開催について

2月17日(水)午後6時30分から 柳沢公民館視聴覚室